

あべちよこ

～あべのの情報をちよこっとお届け～

ちよこつながり応援隊 情報誌

Vol.09

2024年度
夏号



お茶して
「みんな」で
つながる



『6丁目サロン』は、地域に住む高齢の方や障がいがある方も、誰でも気軽に立ち寄り、お茶をしながらゆっくりと過ごせて、交流を深める場として運営されています。

まずは、コーヒーや紅茶を飲んで、ほっと一息。みんなで話して和気あいあいと交流します。お菓子はサロンで準備したもののほか、みんなで持ち寄ります。お茶をいれてくださるボランティアは長年サロンを支えている方に、1年前から新たな方も加わり、一緒にテキパキと動かされていました。

喫茶のほか、第1木曜日は月替わりの行事、第3木曜日は誕生日会を開催しています。

取材時に行われていたのは、絵手紙教室。先生のお手本を見ながら「どう描こうかな」「これ何色にしたらいい？」と隣の人と話しながら真剣に作ります。絵手紙ができあがり、ご自身の作品とすてきな笑顔をみせてくださいました！

誕生日会では、活動場所の施設の方によるハーモニカやウクレレ演奏、プレゼントや手作りの誕生日カードを渡して参加者みんなでお祝い。

代表の森輝代もりてるよさんが調べた「おもしろ川柳」や新聞から拾った言葉の話などをして、楽しく時間を過ごすそうです。



『6丁目サロン』代表 もりてるよ 森輝代さん

続きは④面へ



あたたかな、手づくり料理 『竹の子』

『竹の子』は、第1回「こころのボランティア養成講座」修了生の方々により、平成13年、自主的に立ち上がりました。就労継続支援B型『阿倍野ひまわり作業所』や、地域活動支援センター『茶来』など、心の病を抱える人たちの通う作業所にて、利用者さんの昼食づくりや、お話ししながら共に作業する活動をしています。「こころのボランティア養成講座」は現在まで23回開催されました。



麻婆豆腐



炊き込みごはん



食事メニューは、作業所に通う方たちの希望によって変わります。昔ながらの素朴な家庭料理は大人気で、カレーやちらし寿司、オムライスなどは特に好評です。中でも人気の麻婆豆腐はちょっと辛めで具たくさん。その辛さがとてもおいしく、確かにまた食べたくなるお味です。

多い時は18食ほど、大きなお鍋で一気に作られる料理は栄養も愛情もたっぷり。

まっすぐ伸びて成長していく“竹の子”に、願いを込めて名付けられたこの活動は、あたたかな、やさしい気持ちで現在も続けられています。

ボランティアの方々は「みんなが『おいしい』と言ってくれるのが何より嬉しい」と話されていました。最高齢で90歳を超える創設メンバーの方も、いまでも元気に活動を続けていらっしゃいます。

たくさんの笑顔と「ありがとう」の言葉が飛び交う楽しいひとときでした。

この活動にご興味のある方は、阿倍野区社会福祉協議会までぜひお問い合わせください！

『あべちょこ』は、皆さまからの情報もお待ちしています。阿倍野区のステキな場所など、



とおりすぎてもいいんですか

地下鉄谷町線・阪堺電軌上町線の阿倍野駅近く、どこか懐かしい食品サンプル表示と犬の置物、なにより目を引く

店名看板のある、昔ながらの喫茶店があります。地域の方がつどうこの場所では、顔見知りの常連さんが「お帰りなさい！」と明るい声で迎えられていました。

だれも分け隔てなく受け入れる。お店のママ ^{いわさき} 岩崎ひろみさんの、自然体で、誰に対しても公平である心の持ち方が、多くの人に慕われている理由なのかもしれません。そしてその姿勢は、そのままお店の雰囲気を作っています。

岩崎さんは、お母さんが認知症を患い出歩くようになった当時、いろいろな人にいろいろな場面で助けられたというご経験から、「そのお返しをしたい」との思いですべてのお客さんを尊重しながら、真摯に向き合われてきたそうです。



人気メニューは9時から17時まで実施しているモーニング。チーズトーストやサンドイッチセットなど種類も豊富です。

この時間設定も「いつでも来ていいよ」という岩崎さんの気持ちのあらわれなのかもしれません。

取材当日のランチメニューはアジフライ。コーヒーなどの飲み物もついています。どのお皿も料理があふれそうなほど載っていて、ボリュームたっぷり。とてもおいしく、お腹も心も満たされました。

メニューを考えるのは木村・^{きむら}メルリン・ヴィクトリアノさん。フィリピンのご出身で、明るく笑顔のステキな木村さんは、もう20年近くお店を支えています。

新聞も読めて、夜にはカラオケも楽しめるとのこと。

思い思いにくつろがれる男性の姿も多く見られました。

地域に愛される憩いの喫茶店。穏やかな時間のなかで、ゆっくりお食事はいかがですか。



^{いわさき} (右側)ママ 岩崎ひろみさん ↑



バス旅行にて地域の人たちと



ドリンクつき ↓



↑ ちーママ
きむら 木村・メルリン・ヴィクトリアノさん



①面の続き

6丁目サロンを運営されている有志団体『やすらぎのまちづくり サロンひだまり』は平成18年からサロン活動の運営をされています。6丁目サロンも、10年以上行われているそうです。

森さんは「お互いの顔が見えるようにして、みんな一緒になって参加することを大事に活動しています。」



運営していくのに大変なこともあるけれど、みんなが助けてくれるから、サロンを継続できている。みんなに力をもらっているんです。」と話されていました。

長く活動を続けられているのは、森さんをはじめ、ボランティアも参加者も「みんな」が「みんな」を大切にされていらっしゃるからなんですね。



6丁目サロンに参加してみたいなど、活動に興味のある方は、ぜひ阿倍野区社会福祉協議会までお問い合わせください。

月2回（第1・3木曜日）14時30分～16時
場 所：リカバリハウスいちごいちえ（阪南町6-1-15）
参加費：100円

ちょこっとスマホ相談会 ボランティアグループ「スマホ倶楽部」主催

阿倍野区社協でスマホの基礎講習を受けた有志が、地域の高齢者のなかにスマホの使い方でお困りの方が多いことを知り、少しでも助けになればと結成した倶楽部による相談会です。どの機種でも個別相談で対応可能。お気軽にお越しください。

第2木曜日	10:30～11:30	エフ・エーサロン（阪南町3-31-15）
第3木曜日	10:00～12:00	阿倍野区老人福祉センター（ワクワクセンターあべの）（阪南町5-12-26）
第3火曜日	11:00～12:00	阿倍野区社会福祉協議会（帝塚山1-3-8）
第3土曜日	11:00～13:00	阿倍野区社会福祉協議会（帝塚山1-3-8）

毎月開催
予約不要

